

令和 7 年度

事業概要

介護老人福祉施設 高浜安立荘

高浜安立荘 通所介護事業所

高浜安立荘 居宅介護支援事業所

いこいの宿 高浜安立

(地域密着型サテライト型特別養護老人ホーム)

社会福祉法人 昭徳会 基本理念

しあ

わせ

「 幸 福 」

社会福祉法人 昭徳会 基本方針

- 1 ひとりひとりに、思いやりの心を持って接します
- 2 ひとりひとりを尊重し、その人に合った支援援助をします
- 3 ひとりひとりを大切に、まごころで接します
- 4 わたしたちは、すべての人の幸福を目指し、たゆみなく援助技術の向上に努めます
- 5 わたしたちは、お互いに助け合い、よりよい生活ができるよう努めます

職員行動指針

- 第1条(対人援助) いつも笑顔で接します
- 第2条(思いやり 素直さ) 謙虚な姿勢で接します
- 第3条(共感) 同じ目線で向き合います
- 第4条(仕事への姿勢) いつも前向きに取り組めます
- 第5条(自己研鑽) 学ぶ姿勢を持ち続けます
- 第6条(地域貢献) 地域との繋がりを大切にします
- 第7条(健康管理) 心と身体を大切にします
- 第8条(問題解決) 小さな気づきを大切にします
- 第9条(連携 チームワーク) チーム力を高めます
- 第10条(感謝) 感謝の気持ちで接します

目次

1	施設・事業所の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(1)	施設・事業所の種別、定員、開始年月日・・・・・・・・	1
(2)	所在地及び連絡先・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(3)	建物の構造及び規模・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(4)	施設平面図・・・・・・・・・・・・・・・・	3
2	組織体制図・・・・・・・・・・・・・・・・	4
3	令和6年度事業報告書・・・・・・・・・・・・・・・・	5
4	令和7年度事業計画書・・・・・・・・・・・・・・・・	7
5	高浜安立荘実績報告・・・・・・・・・・・・・・・・	10
(1)	延入所者数・充足率・・・・・・・・・・・・・・・・	10
(2)	入退所者状況・・・・・・・・・・・・・・・・	10
(3)	年齢別入所者数・・・・・・・・・・・・・・・・	10
(4)	平均在所期間・・・・・・・・・・・・・・・・	11
(5)	契約者の状況・・・・・・・・・・・・・・・・	11
(6)	稼働状況考察・・・・・・・・・・・・・・・・	11
(7)	年間入院者数・・・・・・・・・・・・・・・・	12
(8)	疾患別入院者数・・・・・・・・・・・・・・・・	12
(9)	施設内での看取り・・・・・・・・・・・・・・・・	12
(10)	その他の年間事業実績・・・・・・・・・・・・・・・・	12
(11)	看護事業まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・	12
(12)	栄養管理事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・	13
(13)	職員研修参加一覧・・・・・・・・・・・・・・・・	14
(14)	令和6年度委員会報告・・・・・・・・・・・・・・・・	16
(15)	令和7年度施設内会議・委員会・・・・・・・・	19
6	通所介護実績報告・・・・・・・・・・・・・・・・	21
7	居宅介護支援事業実績報告・・・・・・・・	26
8	サテライト型特養いこいの宿高浜安立実績報告・・	30
9	交通のご案内・・・・・・・・・・・・・・・・	32

1. 施設・事業所の概要

(1) 施設・事業所の種別、定員、開始年月日

○【介護老人福祉施設】特別養護老人ホーム高浜安立荘

定員 120 名

開始年月日 平成 5 年 4 月 12 日

○【知的障害者短期入所事業】特別養護老人ホーム高浜安立荘

定員 特別養護老人ホームの空きベッドを活用

開始年月日 令和 3 年 12 月 1 日

※令和 6 年度の事業実績はありません。

○【通所介護】高浜安立荘デイサービスセンター

※特別養護老人ホーム高浜安立荘併設事業

定員 45 名

開始年月日 平成 5 年 7 月 1 日

○【居宅介護支援】高浜安立荘居宅介護支援事業所

※特別養護老人ホーム高浜安立荘併設事業

開始年月日 平成 12 年 4 月 1 日

○【地域密着型サテライト型介護老人福祉施設】特別養護老人ホームいこいの宿高浜安立

定員 20 名

開始年月日 令和 3 年 4 月 1 日

○【知的障害者短期入所事業】地域密着型サテライト型特別養護老人ホームいこいの宿高浜安立 共生型短期入所（空床利用型）

定員 地域密着型サテライト型特別養護老人ホームの空きベッドを活用

開始年月日 令和 3 年 10 月 1 日

※令和 6 年度の事業実績はありません。

(2) 所在地及び連絡先

特別養護老人ホーム 高浜安立荘

〒444-1335 愛知県高浜市芳川町一丁目 2 番地 7 3

Tel:0566-52-5050 Fax:0566-52-5599

E-mail:takahama-a@syoutokukai.or.jp

ホームページ URL <https://tokuyo.anryuso.org/>

高浜安立荘デイサービスセンター

Tel:0566-52-5517 Fax:0566-52-5599

E-mail:takahama-a-dayservice@syoutokukai.or.jp

ホームページ URL <https://day.anryuso.org/>

高浜安立荘居宅介護支援事業所

Tel:0566-52-9875 Fax:0566-52-5583

E-mail:takahama-a-kyotaku@syoutokukai.or.jp

※ホームページは高浜安立荘と共通

地域密着型サテライト型特別養護老人ホームいこいの宿高浜安立

〒444-1335 愛知県高浜市芳川町三丁目 1 番地 6

Tel:0566-54-0522 Fax:0566-54-0523

E-mail:ikoinoyado@syoutokukai.or.jp

ホームページ URL <https://ikoi.anryuso.org/>

(3) 建物の構造及び規模

特別養護老人ホーム高浜安立荘

鉄筋コンクリート造地上 2 階建て	5,024.16 m ²
-------------------	-------------------------

建物延面積 特別養護老人ホーム高浜安立荘	4,562.18 m ²
----------------------	-------------------------

高浜安立荘デイサービスセンター	395.18 m ²
-----------------	-----------------------

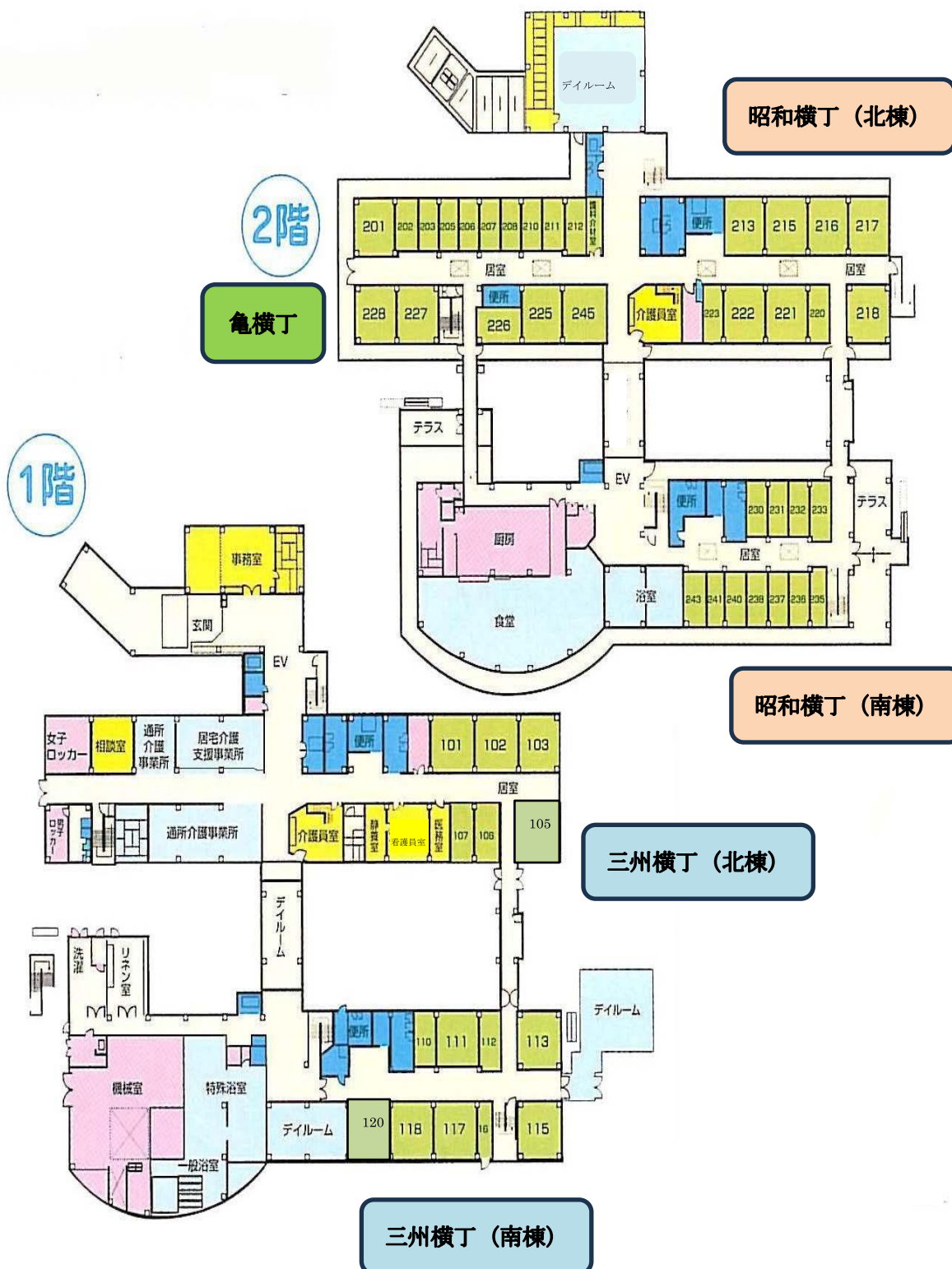
高浜安立荘居宅介護支援事業所	66.8 m ²
----------------	---------------------

地域密着型サテライト型特別養護老人ホームいこいの宿高浜安立

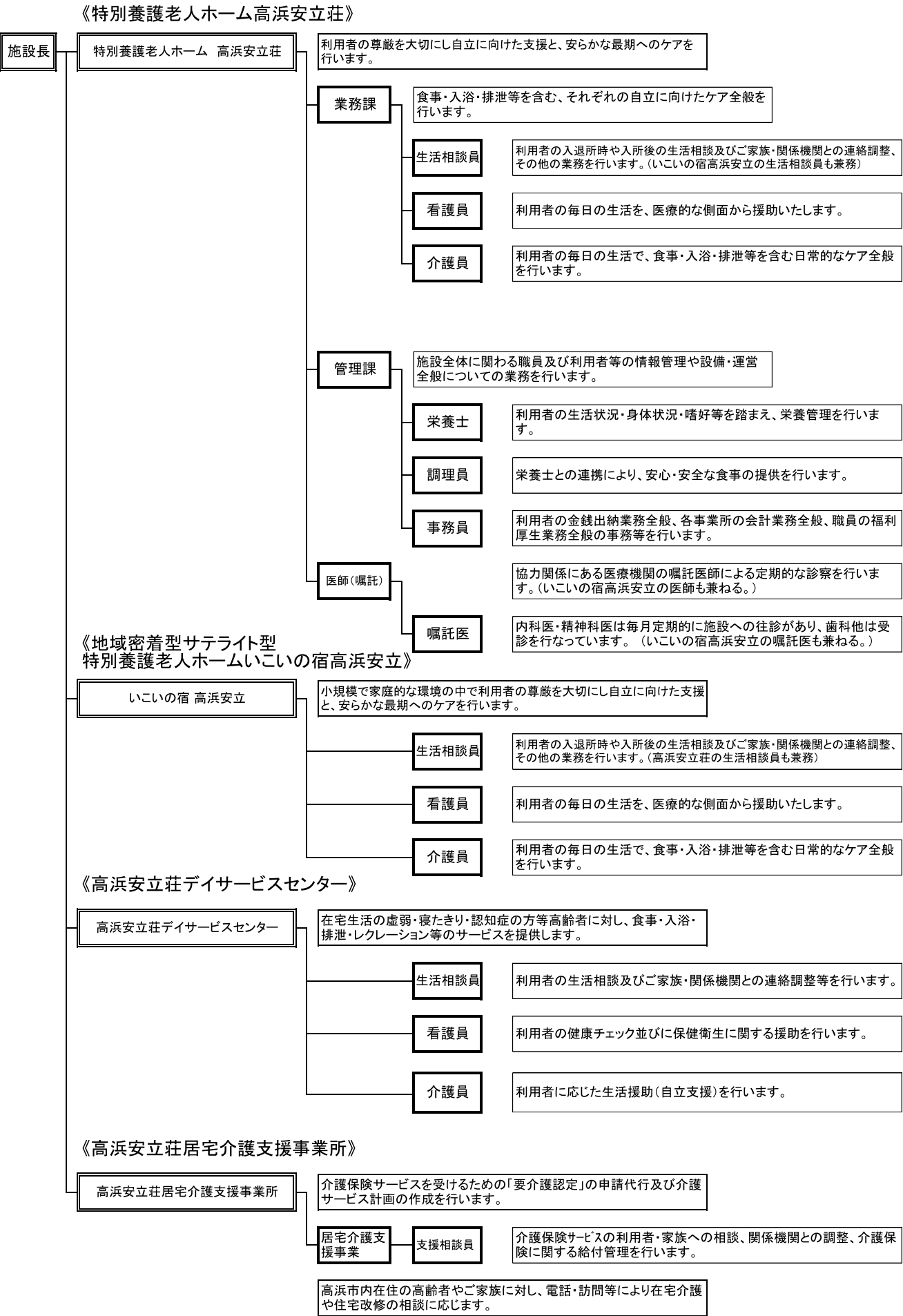
鉄骨造 地上 2 階建て	848.30 m ²
--------------	-----------------------

(4)

施設平面図



2. 組織体制図



1. 「基本理念」等の実践により、やりがいを持って働き続けられる職場を目指す

1) 福祉人として職員の内的価値を高められるよう、資格取得を推進していく

常勤職員・非常勤職員を問わず、面談等を利用し、受験資格のある方に資格の取得を促してきた。その結果、介護福祉士合格者2名と介護支援専門員合格者1名となった。また介護員として長く働いてきている職員の中に、通信で大学に通い社会福祉士を目指す職員もいた。

2) 施設内で実務者研修を受けられる体制を作り、職員の負担軽減を図る

日本福祉大学の協力を得て、今年度初めて施設内にて介護福祉士実務者研修を開催することができた。ケアハウス高浜安立の職員も含め、昭徳会の職員が5名受講した。遠方に行く必要もなく、施設職員の支援も受けられたため好評であった。職員面談を通し、次年度以降も希望する職員がいることが確認できたため継続していきたい。

3) 利用者に喜ばれる存在になるよう各自の力量や得意分野を活かせる場を提供し、資質向上を支援する

様々な職員が増えてきた中で、介護の力量だけでなく素朴に利用者と楽しく関わる機会を作るため、外国籍の職員が母国の自慢のおやつを利用者と一緒に作り、職員を理解してもらう取り組みを行ったり、新人介護職員が得意とする美容を利用者に実施して、利用者に楽しんでいただいたりすることとで「利用者に喜ばれる職員」として、自信につながる取り組みを行った。

2. 外部に発信する機会を増やし、施設の存在価値を高める

1) 各職員が外部に出て取り組みを発信することや施設として発表する機会を作っていく

法人人事課と協力し、小学生の夏休みに児童センターでの「ふくしのお仕事紹介」を介護職員により行った。低学年から福祉に興味を持っていただく機会を作ることで、児童に「ふくし」や「施設」を身近に感じていただく機会を持った。

母校での実習前授業に先輩職員として講師をする機会をいただき、自施設での働きぶりや取組みを披露し伝えた。

2) ホームページの適宜更新と、他の手法も取り入れ、ご家族・地域の方々に興味を持ってみていただけるものとする

ホームページは行事を始め、各種案内も発信し、各部署でブログの更新も行った。写真を含めたご案内はご家族にも好評で、またInstagramを更新しフォロワーも増えてきている。採用や入所に繋がる投稿もあり、引き続き新鮮味のある内容を継続していきたい。

3) 施設内での実務者研修実施が採用に結び付けられるように発信する

実務者研修実施の状況はブログに発信することができたが、直接この件で採用に結びつくことはなかった。ただ、採用面接時には取組を伝えることで、資格取得を検討している人には高評価であった。

3. 経営の健全化と労働環境の改善を図る

1) 各サービス区分でのサービス活動増減差額0を達成する

(1) 高浜安立荘で稼働率97%・いこいの宿も稼働率97%を達成する

高浜安立荘については年間平均稼働率94.4%、いこいの宿は98.3%となった。高浜安立荘で未達成であった。

(2) デイサービスセンターについては、年間の新規利用者目標を40人とし、平均稼働率を30人/日としていく。経年劣化してきている送迎車の更新を行っていく

年間の新規利用者については、介護給付者・総合事業対象者合わせて35名となり、目標を達成することが出来なかった。平均稼働率については31.1人/日となり、目標を達成することができた。送迎車については、2台更新を行った。次年度以降も順次更新していく。

(3) 居宅介護支援事業所は、各自の担当ケースを38件目標とし、特定事業所加算Ⅲの取れる体制を維持する

平均担当ケースは予防も含め1ケアマネ38件/月と目標値を達成し、特定事業所加算Ⅲも継続することができた。

- 2) 特養介護員の採用を積極的に行い、利用者へのサービス向上に努める。1年ごとの技能実習生採用(2名程度)を行い、技能実習生及び特定技能の職員で高浜安立荘10名以上とし、いこいの宿で1名の特定技能の受入れを行っていく

特養介護員の採用については、5月と2月に常勤の介護職員が入ったが、1名は1か月で退職になってしまった。従前のやり方が時代遅れになっており、また浴室の環境に不備が多かったため、体力的に難しいと判断をされたものであった。技能実習生は毎年2名ずつの入職を行っている。今年度2名入職し、次年度も5月ごろに2名入職する予定であるが、技能実習の制度が変わるため、次年度の入職で技能実習の受け入れは中止していく予定である。

一方、特定技能の職員については、N3以上で意欲的な方を採用してきた。高浜安立荘で6名入職したが、前年から在籍していたもののうち、3名が退職、1名が産休に入ってしまった。特定技能の職員については、育成はいるものの大変戦力となっている一方、転職や帰国を希望したもの、年金の関係で長期の不在になるものなど、日本人と同様に今後も計画的な受け入れを考えていく必要がある。3月末時点で特定技能の職員は高浜安立荘で8名(内、1名産休中)、いこいの宿で1名となっている。

- 3) 令和7年度を目標にICT/介護ロボットの導入を具体化し、業務の効率化を検討する

ICTによる見守り機器導入については、次年度に補助金を受けて実施予定をしており、その手続き今年度実施した。

業務の効率化では、高浜安立荘はかなり遅れており、介護用ベッドの手動の機種や経年劣化により傷んだ車いすの補充を計画的に行った。

4. 修繕の優先順位を決め、計画的な実施を行う

- 1) 築30年を超えた施設を建て替えまでの20年が維持できるよう修繕を計画的に行う

今年度、築30年を超えた施設を建て替えまでの20年間維持ができるように、建物調査を実施し、主要な部分の概算金額を出してもらった。その金額をもとに今後の修繕計画も作成した。また、今年度事業計画で計画していた屋上防水工事、厨房の床の張替えを実施した。浴室の改修については、令和8年に2階の浴室に浴槽リフトを入れていく予定であるため、取り急ぎ数年維持できる程度に床を張り替えた。また1階の浴室はデイサービスの利用者が気持ちよく利用できるように劣化した床の改修やカーテンの入れ替えを行った。電話機の基盤更新については、次年度ICTによる見守り機器に合わせて実施していく予定である。

- 2) いこいの宿の共用部分の空調更新、ナースコール基盤交換を実施する

いこいの宿の空調・ナースコールについても更新の時期が来ているが、次年度の補助金を視野に入れながら実施していくこととした。

5. 様々な危機的状況でも事業継続できる体制作り

- 1) 年間で計画した防災訓練の実施と業務継続計画(BCP)の更新

年間で計画した防災訓練は計画通り実施できた。事業継続計画(BCP)の必要な更新を行った。

- 2) 感染症にかかる業務継続計画(BCP)の研修と訓練の実施

全体会議やグループでの研修において、図上訓練、ガウンテクニックの研修を実施した。ガウンテクニックについては、忘れてしまうことも多いので、継続的に実施していく予定である。

- 3) 不審者等の侵入を想定した防犯訓練の実施

碧南警察署の協力の下実施できた。毎回設定を変えて実施しており、土日等の体制の中でどのように動くか訓練を行った。

- 4) カスタマーハラスメントについて施設の指針を定めるとともに研修を実施する

カスタマーハラスメントの指針作成については、高齢者分野の相談員連絡会で協議をしてもらったが、最終の作成までには至らなかった。今後の課題である。

1. 事業運営基本計画(事業目標)

- (1) 法人理念の具現化に向けた事業の推進を行い、サービス内容・品質の向上をめざす
- (2) やりがいを持って働き続けられる職場をめざすための後継者確保・育成(採用・教育・定着)を行う
- (3) 身体的にも精神的にも負担感が過重にならず、働き続けられる心理的安全性の高い職場づくり
- (4) 築30年を超えた施設を計画的な修繕を行えるよう事業収益の維持・向上を図る
- (5) コンプライアンスに対する意識を高め、施設の質を上げる

2. 具体的計画

- (1) 法人理念の具現化に向けた事業の推進を行い、サービス内容・品質の向上をめざす
 - 1) 昭徳会がめざす福祉「利用者・職員・地域に喜ばれる(感謝される、必要とされる、選ばれる)存在(職員・施設)になる」ことを念頭におき、職員一人ひとりが自身のできることを面接シートに掲げ、実行する。
 - 2) 業務内容を見直し、負担の部分を軽減できる見守り機器の導入を補助金活用して行い、利用者に関われる時間を増やす。
 - 3) サブリーダー以上の職員が、自施設の課題を1つ以上把握したうえで、法人内外の他施設の見学を計画的に行い、その結果から改善策を考える。
 - 4) 次年度の第三者評価受審に向けて、前回B評価となったものの中から未作成であった「相談対応マニュアル」「提供するサービスのマニュアル」「喀痰吸引・経管栄養実施マニュアル」と作成していく。
- (2) やりがいを持って働き続けられる職場をめざすための後継者確保・育成(採用・教育・定着)を行う
 - 1) 新しい職員が入職した際の受け入れを統一できるように手順書の作成を行う
 - 2) 身体的な業務負担軽減のために勤務時間の見直しと、それに合う業務改善を行う
 - 3) 4等級以上の職員が「日本福祉大学 初めてのリーダー講座」を視聴しやすいように、令和6年度から行っている「視聴日を決めて一緒に視聴する」方法を該当職員に周知し、視聴しやすい環境を作る
 - 4) 法人のキャリアパス概要図の「E.教育等要件」にある研修について、次世代の人材育成も含め計画的に受講させていく。
- (3) 身体的にも精神的にも負担感が過重にならず、働き続けられる心理的安全性の高い職場づくり
 - 1) 役職者対象の「コーチング研修」に加え、職員対象の「コミュニケーション研修」・「アンガーマネジメント研修」を行う。
 - 2) 他グループの応援を受けるなど業務の見直しを行い、人が減ってもグループ内でカンファレンスが定期的にできる体制を作る。
 - 3) 介護ロボット等(トイレリフト、居室リフト、浴室リフト、スライディングシートとボード等)

身体的負担軽減の必要性について展示会参加やデモ等で理解し、2 ヶ年導入に向けて優先順位と使用ルールを定めていく。

(4) 築 30 年を超えた施設を計画的な修繕を行えるよう事業収益の維持・向上を図る

- 1) 稼働率 97%以上【高浜安立荘・いこいの宿高浜安立】、1 日利用平均 32 人【デイサービスセンター】ケアマネ 1 人当たり 42 件(介護 1・2 9 件、介護 3～5 27 件、介護予防 6 件)を目標とし、収入の増加、支出の削減を図る。具体的には、現行法令の中で取得できる加算を検討し、その取得のための体制を整備する。また支出については、設備更新を計画的に行い経費の削減を図る
- 2) 特養 2 施設の稼働率向上のため、スムーズに空床利用が可能となる体制・ルールを相談員が中心となり作る
- 3) 修繕計画については、全居室に見守りカメラを大規模修繕 ICT 補助金の活用で導入を図る。その際の大規模修繕として屋内消火栓(スプリンクラー)を実施していく【高浜安立荘】。空調更新について省エネルギー補助金を活用し実施予定【いこいの宿】。利用者トイレ・浴室等の修繕【デイサービス】を行う。

(5) コンプライアンスに対する意識を高め、施設の質を上げる

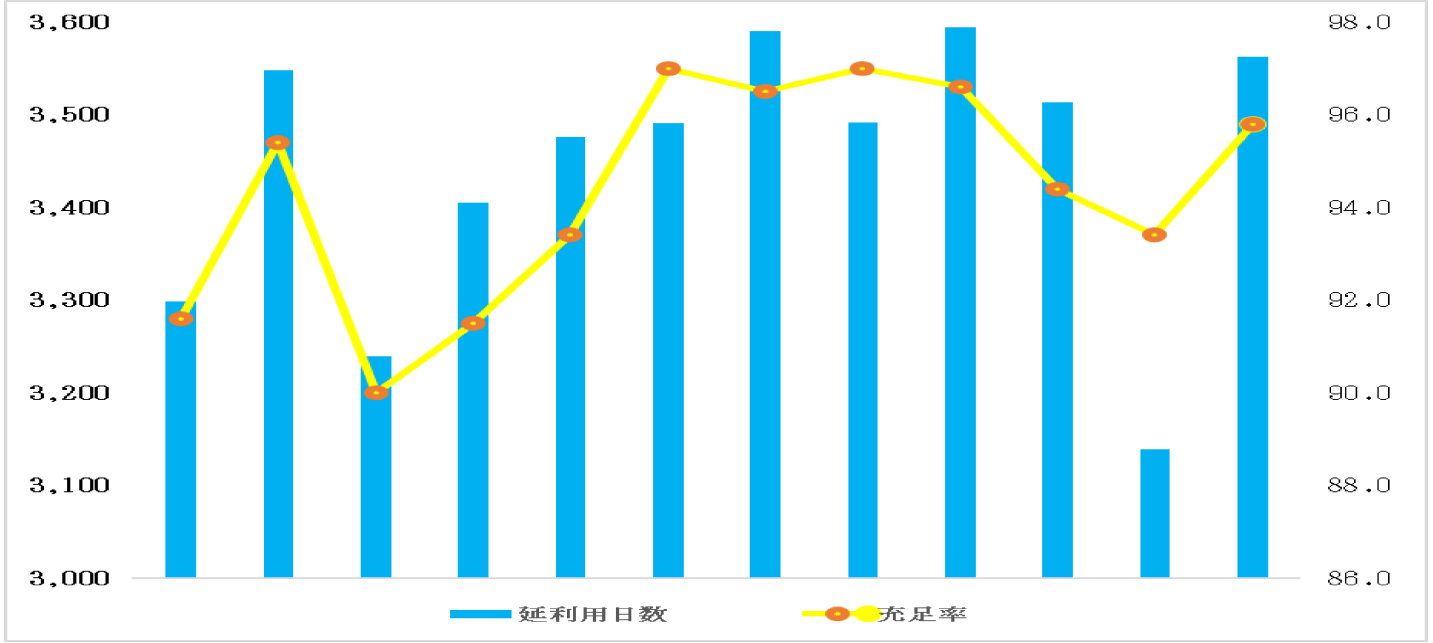
- 1) まず役職者が法令について基礎的な知識を身につけるため、3 年間をかけて全 GL に労働実務基礎研修を受講させる。
- 2) 接遇について学ぶ機会を作るため、全職員を対象とした接遇研修を実施し、お互いに気持ちの良い挨拶ができる施設づくりを行う。

特別養護老人ホーム高浜安立荘

5. 高浜安立荘実績報告(令和 6 年度)

(1)延入所者数・充足率

月 項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
延利用日数	3,298	3,548	3,239	3,405	3,476	3,491	3,590	3,492	3,594	3,513	3,139	3,562	41,347
充足率(%)	91.6	95.4	90.0	91.5	93.4	97.0	96.5	97.0	96.6	94.4	93.4	95.8	94.4



(2)入退所者状況

月 項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
入所者数	5 名	6 名	3 名	3 名	6 名	4 名	2 名	1 名	3 名	1 名	4 名	6 名	44名
退所者数	3 名	3 名	9 名	4 名	0 名	2 名	1 名	3 名	2 名	6 名	3 名	2 名	38名

(3)年齢別入所者数(令和 7 年 3 月 31 日現在)

年齢 性別	在 所 者 数	50～ 54 歳	55～ 59 歳	60～ 64 歳	65～ 69 歳	70～ 74 歳	75～ 79 歳	80～ 84 歳	85～ 89 歳	90～ 94 歳	95～ 99 歳	100 歳～	平均 年 齢
男性	30 名	0 名	0 名	1 名	0 名	4 名	8 名	4 名	5 名	5 名	2 名	1 名	86.1歳
女性	86 名	0 名	0 名	0 名	2 名	2 名	9 名	15名	20名	25名	13名	0 名	85.9歳
合計	116 名	0 名	0 名	1 名	2 名	6 名	17名	19名	25名	30名	15名	1 名	85.9歳

(4)平均在所期間(令和 7 年 3 月 31 日現在)

項目 性別	入所者数	平均在所期間
男性	30 名	3年6か月
女性	86 名	3年9か月
平均		3年11か月

(5)契約者の状況(令和 7 年 3 月 31 日現在)

契約者	配偶者	子	子の 配偶者	孫	兄弟 姉妹	甥・姪	父母	福祉 事務所	成年 後見人	その他	合計
合計	11 名	82 名	3 名	2 名	7 名	3 名	0 名	0 名	2 名	6 名	116名

(6)稼働状況考察

令和 6 年度の稼働率は 94.4%であった。前年度に比べて 2%上昇したが、前年度と同様、低い稼働率となった要因として、令和 5 年度に比べて 6 月の入院期間と 1 月から始まった胃腸風邪の影響で入院者が増えたことによるものと考えられる。入所申込は毎月コンスタントに頂いている状況であるため、時期による退所者数を見据えた入所調整を行うことと、空床ショートステイの受け入れを進めていき、稼働率を上げていきたい。

(7) 年間入院者数

項目 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数(人)	4	7	13	6	3	2	8	6	6	7	4	6	72
延日数(日)	73	87	201	47	27	29	85	58	56	97	64	56	880

(8) 疾患別入院者数

	実人数(人)	延日数(日)	平均日数(日)
肺炎(誤嚥性肺炎を含む)	22	277	12.6
骨折	5	66	13.2
心不全	4	48	12
脳血管障害	6	59	9.8
精神科	3	86	28.7
その他	30	344	11.5
合 計	70	880	

* 誤嚥性肺炎は、嚥下機能の低下に発症する方が多かった。

* 転倒し骨折による入院者も多くみられた。

(9) 施設内での看取り

主な疾患(死因)	肺炎	誤嚥性肺炎	脳血管障害	脳血管性 認知症	悪性腫瘍	老衰	その他	合計
人数 (人)	0	0	0	0	1	8	4	13

* 誤嚥性肺炎で入院した後や身体レベル低下による老衰の方が多くみられた。

(10) その他の年間事業実績

令和6年4月度	◇新人介護員対象「急変時の勉強会」 ◇職員のマスク着用励行
5月度	◇利用者健康診断 ◇AED訓練
6月度	◇利用者健康診断 ◇面会制限緩和
7月度	◇職員健康診断 ◇手洗い講習(1回目)
8月度	◇職員健康診断 ◇AED訓練
9月度	◇レジオネラ菌検査(1回目) ◇たん吸引等の実地研修
10月度	◇たん吸引等の実地研修
11月度	◇たん吸引等の実地研修 ◇インフルエンザワクチン接種
12月度	◇たん吸引等の実地研修 ◇介護員対象「ガウンテクニック研修」
令和7年1月度	◇手洗い講習(2回目)
2月度	◇たん吸引等の実地研修 ◇AED訓練
3月度	◇レジオネラ菌検査(2回目) ◇たん吸引等の実地研修 ◇夜勤従事者健康診断

(11) 看護事業まとめ

1月より2月末まで施設内で胃腸風邪が流行り、その後身体状況が悪化する方もおられた。

インフルエンザ罹患者はみられなかった。

(12) 栄養管理事業報告(令和6年度)

① 栄養摂取状況と献立作成における各種栄養素の考え方

栄養素名	(単位)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	施設基準量
エネルギー	kcal	1658	1640	1629	1634	1643	1645	1639	1628	1643	1618	1626	1609	1634	1532
たんぱく質	g	62.0	62.3	61.5	62.8	62.0	62.2	62.3	62.5	64.3	64.2	64.2	63.9	62.9	52.8
脂質	g	49.1	48.2	46.2	45.7	47.6	46.3	47.5	47.4	48.1	45.9	48.9	46.8	47.3	42.5
炭水化物	g	249.6	247.1	249.0	249.5	248.3	251.2	248.1	245.0	246.2	244.1	239.6	240.5	246.5	285.5
カリウム	mg	2087	2062	2078	2089	2032	2072	2055	2091	2058	2079	2035	2098	2070	2137
カルシウム	mg	514	517	509	513	512	527	490	514	485	508	523	501	509	633
鉄	mg	8.0	8.7	8.1	8.0	8.0	8.1	7.7	8.1	7.6	7.9	8.2	7.8	8.0	6.3
レチノール	μg	452	464	449	465	439	438	433	457	453	450	454	456	451	697
ビタミンB1	mg	0.76	0.75	0.76	0.80	0.76	0.75	0.77	0.77	0.79	0.76	0.77	0.78	0.77	1.00
ビタミンB2	mg	0.93	0.92	0.91	0.94	0.92	0.92	0.95	0.95	0.95	0.93	0.98	0.95	0.94	1.10
ビタミンC	mg	93	90	93	92	87	87	92	94	97	89	97	95	92	100
塩分相当量	g	6.6	6.6	6.3	6.8	6.4	6.6	6.2	6.4	6.0	6.5	6.3	6.1	6.4	8g以下

② 給食数(令和6年3月31日現在)

普通食	34 名
軟菜食	41 名
ソフト食	39 名
経管	2 名
合計	116 名

③ 給食提供時間

朝食	7:30
昼食	12:30
夕食	17:30

④ 運営状況

運営方法	直営
------	----

⑤ 行事食

5月	5日	鮎のてこね寿司・切り干し大根と筍の煮物・水ようかん・吸い物	(おやつ) 柏餅風生和菓子
7月	7日	ごはん・ミートローフ 特製あんかけ・冷製そうめんカッペリーニ風・セタゼリー・枝豆スープ	(おやつ) ねりきり 花あじさい
	24日	鰻の混ぜご飯・肉じゃが・抹茶ゼリー・すまし汁	(おやつ) ねりきり 夏ひまわり
9月	16日	栗ご飯・天ぷら盛り合わせ・ねりきり 鶴亀の舞・なめこの味噌汁	(おやつ) 寿まんじゅう
	22日	ごはん・鶏じゃが・小松菜のわさび和え・抹茶ゼリー・ごぼうの味噌汁	(おやつ) お彼岸用生和菓子
10月	20日	【高浜安立荘秋祭り】 鶏飯・フライドポテト・たません	(おやつ) おしるこ・バニラアイス
10月	31日	えびピラフ・鶏肉のカレー焼き・ねりきり かぼちゃランタン・かぼちゃポタージュスープ	
12月	24日	えびピラフ・ミートローフ・ショートケーキ・コーンポタージュスープ	(おやつ) さつま芋とりんごのパウンドケーキ
	25日	ごはん・鶏肉のトマトソースかけ・ポテトサラダ・ねりきり サンタのお顔・コンソメ春雨スープ	(おやつ) パウムクーヘンあまおう苺
	31日	年越しそば・青梗菜のわさび和え・肉団子・水ようかん	
1月	1日	赤飯・天ぷら盛り合わせ・和風栗プリン・吸い物	(おやつ) ねりきり 祝い華
	2日	海鮮ちらし寿司・筍とふきの煮物・和風紫芋プリン・吸い物	(おやつ) ねりきり 祝い菓
	3日	ごはん・すき焼き煮・さつまロール・なめこの味噌汁	(おやつ) ねりきり 鯛の幸
	7日	七草粥・鯖のゆずみそ焼き・五目ぜんまい・ゆずゼリー・すまし汁	
2月	3日	助六寿司・いわし団子の煮物・かぼちゃパナコ・鬼除け汁	(おやつ) ねりきり 赤鬼
	14日	ごはん・ビーフシチュー・ハートのコロッケ・レアストロベリーケーキ・コンソメスープ	(おやつ) ねりきり パンタインハート
3月	3日	ネギトちらし寿司・しんじょうとさつま芋の煮物・ねりきり 女雛・もやしの味噌汁	

⑥ 水分補給

自立支援の取り組みで食事に含まれる水分以外に1人1日1500ml以上を目標に水分提供を行っている。

⑦ 常食移行への取り組み

介護力向上講習会において、常食がもっとも安全な形態であり、口腔機能が回復する訓練食であることを学び、平成25年度より本格的に常食化への取り組みを行っている。刻み食やミキサー食を廃止し、それに替わる形態として新軟菜食やソフト食を取り入れ、普通食・新軟菜食・ソフト食と硬さを3段階に分けて提供している。

⑧ イベント食

各グループで2か月に1回、調理員がデイルームへ出向き、ご利用者の目の前で調理し、できたてを食べていただいている。五感を使って楽しんでいただくことや外食に行く機会のない方にも普段と違った雰囲気味わっていただきまた、常食移行へのきっかけ作りも目的の1つとして実施している。

鶴横丁・昭和横丁・亀横丁・いこい	葵・スター
4月	抹茶どら焼き
6月	和風スパゲティ
8月	チャーハン
10月	手作りコロッケ
12月	握り寿司
2月	手作りつみれ鍋
5月	抹茶どら焼き
7月	和風スパゲティ
9月	チャーハン
11月	手作りコロッケ
1月	握り寿司
3月	手作りつみれ鍋

(13)職員研修参加一覧(令和6年度)

		研修内容(外部研修)	介護員	相談員	看護員	栄養士	調理員	事務員	役職者
4月	1日～30日	経営戦略セミナー(web)							1
	23日	介護力向上講習会(web)	3						
5月	28日	介護力向上講習会(web)	3						
6月	6日	政経セミナー							1
	7日	衣浦東部保健所管内栄養士会							1
	8～9日	社会福祉士実習指導者講習会		1					
	19日	県老施協BCP机上訓練(自然災害編)(web)							1
	25日	介護力向上講習会(web)	3						
7月	4日	お茶の水ケアサービス学院フォローアップ研修(web)							1
	10日	認知症介護実践者研修(5日間)							1
	12日	高浜市 現任介護職員研修							1
	17日	県老施協BCP机上訓練(感染症編)(web)			1				
	19日	生産性向上に向けた研修会							1
	23日	介護力向上講習会(web)	3						
	24日	ケアの効率を上げる排せつケアの新たな方法							1
	31日	LIFEシステムに関する研修(web)							1
8月	1日	ロフォス会計研修入門コース(3日間)							1
	22日	県社協中堅職員研修会	2						
	23日	安全運転管理者講習							1
	27日	介護力向上講習会(web)	3						
9月	9日	認知症介護実践リーダー研修(8日間)							1
	10日	認知能動療法WEB研修会(12日間)(web)							1
	12日	LIFE 第1回説明会(web)							1
	24日	介護力向上講習会(web)	3						
10月	11日	不在者投票事務説明会							1
	12日	高齢者排尿障害研修			1				
	16日	介護施設等の看護実務者研修			1				
	22日	介護力向上講習会(web)	3						
11月	14日	ロフォス会計研修中級コース(3日間)						1	
	21日	全国老人福祉施設大会研究会議(2日間)							4
	26日	生産性向上に向けた研修会	1						1
	26日	介護力向上講習会(web)	3						
12月	3日	栄養士研修会				1			2
	4日	CareTex名古屋'24	2						2
	17日	介護力向上講習会(web)	3						
	18日	高齢者・障害者施設におけるカスタマーハラスメント対応(web)							1
1月	21日	効率的な時間の活用方法							3
	28日	介護力向上講習会(web)	3						1

		研修内容(外部研修)	介護員	相談員	看護員	栄養士	調理員	事務員	役職者
2月	10日	外国人介護人材受入れセミナー	1						
	20日	愛知県災害派遣福祉チーム員発展研修							1
	25日	介護力向上講習会(web)	3						
3月	3日	施設ケアマネジメント研修(2日間)(web)							1
	12日	県社協高齢部会施設長研修							1
	15日	健康保険委員オンラインセミナー						1	
	25日	介護力向上講習会(web)	3						

		研修内容(法人内部研修)	介護員	相談員	看護員	栄養士	調理員	事務員	役職者
5月	10日	V等級(課長・主任GL)監督者研修							3
6月	28日	初任者研修③-1	1						
7月	12日	VII・VIII等級(施設長・次長)研修							1
	24日	エキスパート研修	2	1	1			1	
8月	29日	メンタルヘルス管理者研修							6
10月	4日	法人分野別専門研修(高齢分野)	3						
	5日	福祉セミナー	1						2
	8日	管理会計研修							9
	22日	メンタルヘルス管理者研修							5
1月	16日	管理会計研修							9
2月	3日	SDGs研修							1
	19日	防災、減災研修会							2
	19日	日本福祉大学合同研修会							1
	24日	福祉実践発表会	2		1				2
3月	24日	新任職員研修(3日間)	6		1		1		

(14) 令和 6 年度 委員会報告

①虐待防止委員会/リスクマネジメント委員会/喀痰吸引等安全対策委員会/

身体拘束適正化対策会議

- 毎月の事故内容について考察し、各グループ間で情報交換を行い事故の低減に努めた。
- 事故防止 5 か条テスト、KYT、身だしなみ 5 か条テストを行い、リスクマネジメントへの意識を高めた。
- 施設内で身体拘束及び虐待防止、権利擁護についての勉強会を開催した。
- 喀痰吸引等安全委員会において事故の分析や実地研修の進捗状況を把握した。

②防災会議

- 防災訓練計画に則り、防災訓練を実施した。
- 9 月に防災フォーラムに参加した。
- 5 月、9 月、2 月に応急手当講習を行い、心臓マッサージや AED の使用方法を学んだ。
- 3 月に自施設の BCP に沿った図上訓練を実施した。

③安全衛生委員会

- 毎月の衛生委員会をととして情報共有を行い衛生管理に努めた。
- 職員の健康診断を実施し、健康状態のチェック、経過観察をすることができた。必要であれば、各職員へ受診を促し健康状態の向上に努めた。
- 新型コロナウイルスに関する感染対策、感染予防の徹底と情報共有を行った。
各種感染症の情報が産業医からあれば、都度報告し情報共有をすることができた。
- ストレスチェックを実施し、自己のストレスを把握し健全な状態で業務にあたること
ができるよう努めた。また職場環境改善にも活用し、改善策を検討し実践した。

④CM委員会

- 介護員の負担を軽減するために、アセスメント様式の見直しを図り、アセスメントの実施は令和 7 年度よりケアマネが実施するように調整をした。
- LIFE の情報を共有し、LIFE のフィードバックを活用することで全国と施設の数値を委員会メンバーで見比べることができた。

⑤生産性向上委員会

- 令和7年度の見守り機器導入に向けて、安立荘へ2回見学に行って学ぶことができた。
- ケアテックス名古屋'24に参加し、知見を広げることができた。

⑥介護力向上委員会

- 愛知県介護力向上講習会に参加し、自立支援介護の継続に努め維持した。
- 毎月まとめを作成し、現状の把握に努めるとともに事例対象者を選定し、協議内容を改善するためにカンファレンスを行ない検討内容の実施した。
- 自立支援介護の理解を深めるためにテーマごとに確認テストを実施した。

⑦褥瘡対策委員会

- 褥瘡対策の指針に基づいて毎月評価を実施し、早期治癒に努めた。また今年度は、勉強会を中心に活動。リフトの使用実践やシーティングの勉強会をNFU川崎様に行き、栄養士による勉強会やスモールチェンジについて等の勉強会を開催した。介護員と共に、ベットマットの管理についても前年度に引き続き実施した。

⑧感染症対策委員会

- 委員会を通じて手指消毒、手洗い及び消毒の励行を日常的に発信、手洗いチェッカーを用いて手洗いの必要性の認識と手技の向上を図ったり、手指消毒ボトルを各自に配布し、常に消毒を行える環境にした。介護員全員にガウンテクニックの実技を行い、正しい防護服の着用の研修を実施した。また、環境整備や面会制限を行い、新型コロナウイルスの感染予防の徹底に努めた。その他、胃腸風邪やインフルエンザの感染予防のための勉強会を実施した。

⑨回想法委員会

- 回想法の技術を高めるために、委員会の中で回想法セッションを行い、来島修志先生から直接指導を受けた。
- 各グループの委員をリーダー役にし、グループの利用者との回想法を行ない、委員から見ていた時の意見や出てきた話題、言葉の意味などの指導・勉強を行なった。回想法の担当グループは、それ以前に数回回想法を行ない、流れややり方を身につけてもらった。
- 来島修志先生に回想法に使うHDS-Rなどの評価の仕方、計画書の作成を指導してもらい統一した。

⑩環境整備委員会

- 浴室周りの環境整備等について検討し、汚物室掃除等の環境整備や必要な個所の修繕等を実施した。
- 10 月秋祭り実施 1 週間前に荘周辺の大規模な除草と清掃作業を実施した。
- 2 階おむつ倉庫内と渡り廊下の環境整備の実施。おむつ倉庫内は不要なクッションを処理し、必要スペースの確保を行った。2 階渡り廊下積んで使用されず放置してあった畳を必要分と不要分で仕分け作業を行い、必要分はおむつ倉庫に移動させ、不要分は処理をした。

⑪祭り実行委員会

- 令和 6 年度秋祭り（10/20）開催に向けて、祭りの出し物について各グループから事前アンケートを行い、それを参考に内容を決定。事前にボランティアの募集を施設、法人関係者内から募り、開催が可能な人員の確保を行った。また、外部依頼で森のふーせんやさんの森様（バルーンアート）、チンドン海泉社様（ちんどん屋）、法人内から小原学園おばらっち和太鼓様（和太鼓演奏）、授産所高浜安立様（ぱりまるたません）の方々に来荘して頂き、祭りを盛り上げることができた。利用者家族様にも事前に祭り参加の有無を施設より郵送にて確認し、祭りの食事屋台の量や必要職員の人数、会場内のレイアウト作成等、計画的に進めることができた。

⑫広報委員会

- R5 年度にリニューアルしたブログをコンスタントに更新できるよう、ブログの更新頻度の確認、毎月の更新担当の割り振りを行った。

(15) 令和7年度 施設内会議・委員会

【会議】

施設全体会議	
議長	管理課長
リーダー会議（入退所検討委員会/給食会議含む）	
議長	業務課長
防災会議	
議長	防火管理者

【委員会】

リスクマネジメント委員会 (虐待防止委員会/身体拘束適正化対策会議を含む)
感染症・褥瘡対策委員会
介護力向上委員会
回想法委員会
安全衛生・環境整備委員会
CM委員会
生産性向上委員会
広報・祭り・親睦委員会
ハチドリ推進チーム

■各会議、委員会、担当者会の開催要領

- 業務課職員は、いずれかの委員会に所属し、グループの代表として参加する
- 会議、委員会は原則月1回以上開催する(経営会議、施設全体会議、ハチドリ推進チームを除く)
- 施設全体会議は、各事業所職員を含めた全体の職員会議で、年3回開催する

■各会議、委員会での主な検討事項

- リーダー会議 施設の方針に基づくケアサービス全般の諸問題を検討
入退所検討委員会と給食会議(より良い食事の提供についての検討)を含む
- 防災会議 防災・防犯活動の計画、実行、BCP見直し及び避難訓練の遂行
- リスクマネジメント委員会 リスクマネジメントと事故分析。虐待防止・身体拘束適正化に関する話し合い
- 感染症・褥瘡対策委員会 感染対策BCPの策定、感染症発生の確認と予防策の検討。褥瘡の予防と早期治癒に向けての対策を多職種で検討
- 介護力向上委員会 自立支援介護の基本に基づいたケアの提供等について検討
- 回想法委員会 施設内における回想法の実践と職員の技術向上
- 安全衛生・環境整備委員会 職員の健康管理、事故防止等について検討。施設内の環境整備について検討
- CM委員会 施設サービス計画書、アセスメントについて検討。LIFEのフィードバックについて検討
- 生産性向上委員会 介護現場の生産性向上を推進するために、サービスの質の確保、介護職員の負担軽減のための対策を検討
- 広報・祭り・親睦委員会 ホームページ等の見直しについて検討。秋祭り等の開催について検討。職員親睦会の企画、実施
- ハチドリ推進チーム 社会貢献活動「ハチドリチャレンジ」の活動の呼びかけ、計画、実施

高浜安立荘デイサービスセンター

令和6年度実績報告

(1)稼働状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数		26	27	25	27	27	25	27	26	26	25	24	26	311
利用延数	要介護	690	718	626	662	604	645	714	695	733	607	658	677	8029
	要支援	106	126	123	140	130	124	141	142	156	148	143	162	1641
1日 利用平均	要介護	26.5	26.6	25.0	24.5	22.4	25.8	26.4	26.7	28.2	24.3	27.4	26.0	26
	要支援	4.1	4.7	4.9	5.2	4.8	5.0	5.2	5.5	6.0	5.9	6.0	6.2	5
利用実人数	要介護	63	63	59	56	55	56	57	57	58	58	59	60	701
	要支援	20	23	25	25	24	25	27	26	31	28	26	31	311
入浴者数		591	608	530	550	497	540	584	551	585	506	561	576	6679
食事提供数		787	838	740	793	725	761	847	828	880	747	793	832	9571
新規 利用者数	要介護	1	2	0	0	3	2	1	2	2	0	3	1	17
	要支援	0	3	2	1	0	1	3	0	3	0	0	5	18

(2)年齢階層(令和7年3月31日時点)

	～ 64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～90歳	90歳 ～	合計
男性	2	0	2	7	1	3	6	21
女性	0	1	5	7	17	20	20	70
合計	2	1	7	14	18	23	26	91

(3)要介護度別利用者数(令和7年3月31日)

	事業対象者	要支援1	要支援2	合 計
延べ人数	142	684	815	1641
比率	1.5%	7.1%	8.4%	17.0%

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
延べ人数	4239	2084	888	667	151	8029
比率	44%	22%	9%	7%	2%	83%

(4)要介護度別実利用者数(令和7年3月31日)

	事業対象者	要支援1	要支援2	合 計
男性	0	3	3	6
女性	2	14	9	25
合計	2	17	12	31

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
男性	6	3	2	3	0	14
女性	26	9	6	4	1	46
合計	32	12	8	7	1	60

R6年度は8月に稼働率が低下する事があったが、それ以降は高い稼働率を維持することができた。利用者の受入を制限することなく、いかに受入れ続けることができるかを基本姿勢として、新規の受入れも年間で35名受入れることが出来た。
年度を通して総合事業(要支援1・2)の受入れが増え、利用登録者も増えている。総合事業の定員枠に達する日も出てきているのが特徴としてある。

(5)行事食・バイキング食実績

4月	抹茶どら焼き(4/20・22) バイキング食(4/12) 助六寿司・白身魚の南蛮漬け 新じゃがと新玉の焼きサラダ 山菜と油揚げの炒め煮 ぜんざい・ほうじ茶アイス すまし汁	バイキング食(4/24) 助六寿司・鰯の南蛮漬け 新じゃがと新玉の焼きサラダ 山菜と油揚げの炒め煮 ぜんざい・ほうじ茶アイス キャベツの味噌汁	10月	手作りコロッケ(10/18・21) バイキング食(10/12) たけのこご飯・さんまの塩焼き さつま芋のレモン煮・筑前煮 なすの味噌汁・紫芋アイス (選択)ねりきり ①秋の姫 ②和風モンブラン	バイキング食(10/31) えびピラフ・鶏肉のカレー焼き さつま芋のレモン煮 赤玉ねぎとコーンのサラダ かぼちゃポタージュ・紫芋アイス ねりきり かぼちゃランタン
5月	握り寿司(5/15・20) バイキング食(5/4) 手毬寿司・こいのぼりおひな 鶏肉のから揚げ 春キャベツとしらすの和え物 そら豆とえびのうま煮・すまし汁 ぜんざい・黒ごまアイス	バイキング食(5/28) 手毬寿司 春野菜と豚肉の甘味噌炒め いんげんとしらすの梅和え そら豆とえびのうま煮・すまし汁 ぜんざい・黒ごまアイス	11月	鶏ちゃん焼き(11/21・26) バイキング食(11/9) 秋鮭と銀杏の炊き込みご飯 牛肉ときのこの春雨炒め グリーンサラダ・わけぎの酢味噌掛け コンソメスープ・柿とりんごの甘煮 (選択)①いちごクレープ ②ねりきり お芋の収穫	バイキング食(11/29) 秋鮭と銀杏の炊き込みご飯 豚肉とごぼうの卵炒め グリーンサラダ・わけぎの酢味噌掛け コンソメスープ・ぜんざい (選択)①いちごクレープ ②ねりきり お芋の収穫
6月	和風スパゲティ(6/11・21) バイキング食(6/17) とうもろこしのバター醤油炊き込みご飯 もやしと香味野菜の肉巻き なすとズッキーニのトマト煮 きゅうりのごまだれ和え・すまし汁 ポテトポタージュスープ ぜんざい・ストロベリーアイス	バイキング食(6/26) とうもろこしのバター醤油炊き込みご飯 もやしと香味野菜の肉巻き なすとズッキーニの梅和え 白身魚の香草焼き・すまし汁 ポテトポタージュスープ ぜんざい・ストロベリーアイス	12月	握り寿司(12/7・12) バイキング食(12/24) えびピラフ・ミートローフ 鶏肉のトマトソースかけ リースサラダ・ポテトサラダ コーンポタージュスープ (選択)①ショートケーキ ②チョコレートケーキ	バイキング食(12/25) えびピラフ・ミートローフ 鶏肉のトマトソースかけ リースサラダ・ポテトサラダ コンソメ春雨スープ (選択)ねりきり ①サンタのお顔②クリスマスリース
7月	鰻の蒲焼き(7/23・24) バイキング食(7/6) ちらし寿司・オクラの肉巻きフライ 筑前煮・三色そうめん すまし汁・七夕彩りゼリー ねりきり 花あじさい	バイキング食(7/18) 三色そうめん・冷やし焼きなす かぼちゃサラダ・ゴーヤチャンプル なめこの味噌汁 ぜんざい・ラムネアイス	1月	マグロのステーキ(1/15・27) バイキング食(1/7) 七草粥・鰯の柚子みそ焼き 五目ぜんまい・京風たまご焼き すまし汁 抹茶アイス・ぜんざい	バイキング食(1/9) 菜飯・鰯の柚子みそ焼き 五目ぜんまい・鶏肉の西京焼き スパゲティサラダ・すまし汁 抹茶アイス・ぜんざい
8月	チャーハン(8/7・8) バイキング食(8/20) 穴子ちらし・牛肉のすき焼き風煮 冷ややっこ・とろろ昆布乗せ なすとしらすのおかか和え なすのから揚げ・すまし汁 フルーツ盛り合わせ	バイキング食(8/23) 穴子ちらし・牛肉のすき焼き風煮 鶏肉のバジル焼き ほうれん草の和え物 梅しそそうめん・麩の味噌汁 フルーツ盛り合わせ	2月	手作りつみれ汁(2/8・20) バイキング食(2/3) 助六寿司・いわし団子の煮物 揚げ出し豆腐 和風あんかけ 春菊のごま和え・鬼除け汁 黒ゴマアイス・ねりきり 赤鬼	バイキング食(2/14) じゃこ枝豆の炊き込みご飯 ハートコロッケとワカサギの竜田揚げ ビーフシチュー・トマトとサーモンのサラダ 蓮根のツナマヨ炒め ガトーショコラアイス ねりきり バレンタインハート
9月	冷やしうどん(9/10・20) バイキング食(9/11) 栗ご飯・秋の温野菜 焼肉ソース ポテトサラダ・茶碗蒸し 小松菜の味噌汁 ぜんざい・抹茶アイス	バイキング食(9/16) 栗ご飯・天ぷら盛り合わせ ポテトサラダ・茶碗蒸し 小松菜の味噌汁 抹茶アイス・ねりきり 鶴亀の舞	3月	海鮮ちらし寿司(3/15・28) バイキング食(3/3) ネギトロちらし寿司 しんじょうとさつま芋の煮物 春キャベツとベーコンの炒め 菜花の辛子和え・もやしの味噌汁 ポップマーブルアイス ねりきり 女雛	バイキング食(3/27) ネギトロちらし寿司 しんじょうとさつま芋の煮物 春キャベツとベーコンの炒め 菜花の辛子和え・コンソメスープ ポップマーブルアイス ねりきり 女雛

(6)職員研修及び実習受け入れ状況

	研修（施設外）	実習受け入れ
4月		
5月	自立支援介護学術大会（東京・船橋/センター長） V等級研修（法人本部/主任GL）	
6月	レクリエーション講習会（刈谷市・総合文化センター/相談員）	高浜中学校職場体験学習
7月	VI・VII等級研修（法人本部/センター長）	高浜高等学校福祉科2年生「介護実習」
8月	学習療法マスター研修（WEB/相談員） メンタルヘルス研修（法人本部/センター長）	高浜高等学校福祉科1年生「介護実習」
9月	安全運転管理者講習（碧南市/主任GL） コーチング研修（高浜市いきいき広場/主任GL）	社会福祉士実習
10月	管理会計研修（法人本部/センター長、主任GL） デイサービス事業継続支援研修（東京都・全国老人福祉施設協議会） メンタルヘルス研修（法人本部/主任GL）	（桃陵高校「校外学習」）
11月	デイサービス事業継続支援研修（東京都・WJU株式会社/主任GL） 高齢者虐待対応研修（高浜市いきいき広場/相談員）	
12月	デイサービス事業継続支援研修（東京都・WJU株式会社/主任GL） 相談員交流研修（高浜市・障がい者支援センター/主任GL）	
1月	デイサービス事業継続支援研修（東京都・WJU株式会社/主任GL） 管理会計研修（法人本部/センター長、主任GL） 高浜市職員公開研修（高浜市いきいき広場/相談員） レクリエーション構築研修（愛知県社会福祉協議会/相談員）	
2月	デイサービス事業継続支援研修（東京都・WJU株式会社/主任GL） 労働実務総合研修（名北労働基準協会/主任GL） 福祉教育推進研修（センター長）	
3月	鈴鹿グリーンホーム施設見学（三重県・鈴鹿福祉会/主任GL） デイサービス事業継続支援研修（東京都・全国老人福祉施設協議会）	

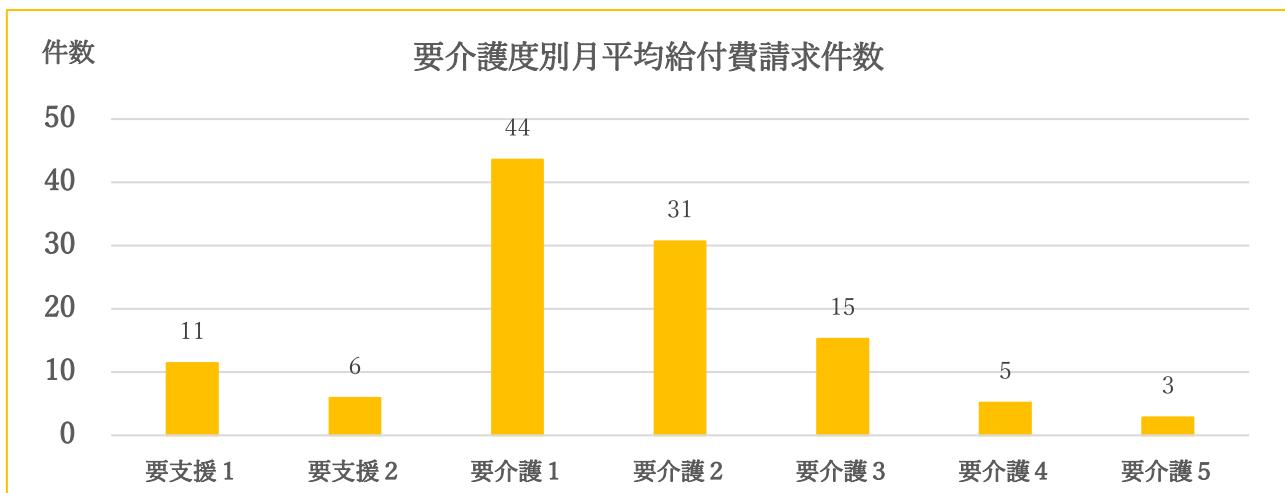
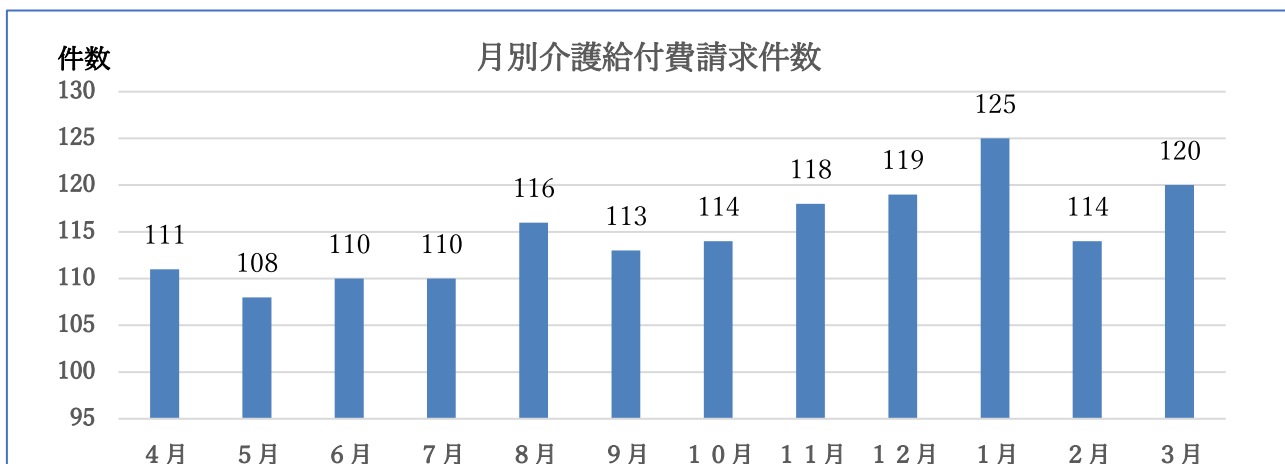
高浜安立荘居宅介護支援事業所

7.居宅介護支援事業実績報告

令和 6 年度 介護給付費請求件数(要支援・要介護度別件数)

単位：件

月	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	9	6	46	27	13	6	4	111
5 月	10	4	45	29	13	5	2	108
6 月	10	4	46	30	13	5	2	110
7 月	10	5	45	31	12	5	2	110
8 月	10	4	48	31	15	6	2	116
9 月	12	4	44	31	15	5	2	113
10 月	12	4	41	31	17	5	4	114
11 月	14	7	41	34	16	3	3	118
12 月	13	7	42	33	17	4	3	119
1 月	13	8	42	33	19	6	4	125
2 月	12	9	40	29	15	6	3	114
3 月	12	9	43	29	18	6	3	120
合計	137	71	523	368	183	62	34	1378
月平均	11	6	44	31	15	5	3	115



令和 6 年度 相談・活動状況

単位：件

月	相談 延件数	（相談・契 約・モ ニタリ ング訪 問） 延件 数 援助 内容	援助方法別			サ ー ビ ス 担 当 者 会 議 件 数
			直接援助		間接援助	
			訪 問 件 数	来 電 所 話 ・	調 査 等 連 絡 調 整 協 議	
4 月	654	656	156	166	332	15
5 月	643	670	143	159	341	15
6 月	555	570	128	131	296	16
7 月	693	719	140	164	389	14
8 月	757	719	137	170	450	18
9 月	630	662	127	150	353	15
10 月	658	678	137	153	368	12
11 月	696	717	138	148	410	16
12 月	682	706	146	159	377	21
1 月	762	800	140	174	448	19
2 月	685	704	140	150	395	14
3 月	693	706	144	157	396	13
合計	8108	8307	1676	1881	4555	188
月平均	676	692	140	157	380	16

令和 6 年度 各月契約者状況

※要支援は 3 件で 1 件と計算

単位：件

月	給付管理件数	新規契約者	契約終了者	契約終了者内訳		
				死亡	施設入所	その他
4 月	101	2	3	2	1	0
5 月	98	4	2	1	0	1
6 月	100	3	2	0	0	2
7 月	100	6	2	1	1	0
8 月	106	2	1	2	0	0
9 月	102	4	3	2	0	1
10 月	103	4	4	2	1	1
11 月	104	3	4	1	3	0
12 月	105	5	1	0	1	0
1 月	111	2	4	1	2	1
2 月	100	2	4	1	2	1
3 月	106	4	6	3	2	1
累計	1236	41	36	16	13	8
月平均	103	3	3	1	1	1

年々軽度化傾向にあり、要介護 1・2 に加え、今年は更新認定にて要介護から要支援になる利用者が多かった。
新規利用者の依頼が少ない現状がありながらも、契約終了者よりも契約者数が上回る形となった。

令和6年度 高浜安立荘居宅介護支援事業所 活動報告一覧

活動内容	月日	場所	主催・共催	参加者
共催研修等				
高齢者を支える家族の集い	12/19	市内	高浜市地域包括支援センター、高浜市内各サービス事業所	1名
高浜市内ケアマネジャー情報交換会	6/14, 9/8, 12/13, 3/14		高浜市地域包括支援センター、高浜市内の居宅介護支援事業所	3名
他法人合同事例検討会・研修会	9/8		こもれび支援センター、高浜安立荘居宅介護支援事業所	3名
高浜市主催の会議・研修等				
高浜市高齢者サービス調整会議	毎月第1木曜日	市内	高浜市	3名
高浜市在宅医療・介護連携推進協議会 事例検討会	隔月第4火曜日			3名
高浜市介護予防のための地域ケア個別会議	5/21, 8/20, 11/19, 1/21, 3/18			2名
現任介護職員研修	7/12			1名
介護支援専門員研修	9/17			2名
高齢者虐待対応研修	11/6			1名
指定事業者講習会	web動画視聴			1名
その他の研修等				
特定事業所勉強会	4/22, 5/17, 7/19, 2/21		ケアプランセンターひまわり	3名
愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会研修会	6/8, 2/8		愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会	2名
KRC研修会（障害者手帳、障害者の防災について）	8/28, 9/25		刈谷豊田総合病院	1名
摂食嚥下障害勉強会	10/22		老人保健施設ひまわり	2名
パーキンソン病についての勉強会	7/8, 8/20, 12/12		PDハウス	1名
身元保証制度と後見制度について	12/10, 1/21, 3/25		ウェルビト	1名

**地域密着型サテライト型
特別養護老人ホームいこいの宿高浜安立**

8. サテライト型特養いこいの宿高浜安立実績報告

(1) 充足率

		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	
		日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365		
R6施設の定員			20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240	20	
①	在入所者数推移の概要	令和6年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		実利用者数	20	20	21	20	20	19	20	20	20	20	20	20	20	240	-
		月間延日数	600	620	630	620	620	570	620	600	620	620	560	620	7,300	-	
		月間請求日数	600	620	600	605	588	570	618	593	620	620	543	597	7174	-	
		充足率	100.0	100.0	100.0	97.6	94.8	95.0	99.7	98.8	100.0	100.0	97.0	96.3	1179.2	98.3	
②	実利用者数 (名)	令和6年度	20	20	21	20	20	19	20	20	20	20	20	20	240	20.0	
		市内	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240	20.0	
	平均介護度	令和6年度	3.70	3.70	3.76	3.70	3.80	3.74	3.70	3.70	3.70	3.75	3.75	3.75	44.75	3.73	
③	新入所者数 (名)	令和6年度	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3	0.3	
		市内	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	-	
④	退所者数 (名)	令和6年度	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2	
		市内	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	-	
⑤	空床理由	令和6年度	0	0	30	15	32	0	2	7	0	0	17	23	126	11	
		入院期間	0	0	0	15	19	0	0	7	0	0	16	0	57	5	
		外泊期間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		退所後期間	0	0	7	0	13	0	0	0	0	0	1	0	21	2	
		入所迄期間	0	0	23	0	0	0	2	0	0	0	0	23	48	4	

(2) 年間入院者数

項目 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数(人)	0	0	0	2	2	0	0	1	0	0	1	0	6
延日数(人)	0	0	0	15	19	0	0	7	0	0	16	0	57

(3) 疾患別入院者数

	実人数(人)	延日数(日)	平均日数(日)
肺炎(誤嚥性肺炎も含む)	2	34	17
骨折	0	0	0
心不全	0	0	0
脳血管障害	1	7	7
精神科	0	0	0
その他	1	16	16
合計	4	57	40

0

(4) 施設内での看取り

主な疾患(死因)	肺炎	誤嚥性肺炎	脳血管障害	脳血管性認知症	悪性腫瘍	老衰	その他	合計
人数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0

(5)会議・委員会報告

委員会及び会議名	開催頻度	内容
ユニットケア推進会議	月 1 回	稼働状況を共有し、課題について検討し安定した施設運営に努める。
ユニット会議	月 1 回	各ユニットでの課題の共有と改善策の検討。
運営推進会議	6 回/年	町内会やボランティア団体、入所者家族、高浜市職員と施設の運営状況等について話し合う。
身体拘束適正化委員会	月 1 回	

高浜安立荘合同委員会及び会議名

委員会及び会議名	開催頻度	内容
防災会議	月 1 回	入所者を災害から守るため、避難訓練や BCP の作成を行う。
リスクマネジメント委員会	月 1 回	事故報告に基づき原因の検証と改善策の効果について検討。
感染症対策委員会	月 1 回	感染症について話し合い対策をする。
褥瘡対策委員会	月 1 回	褥瘡予防やケース検討を行う。
介護力向上委員会	月 1 回	Web 研修から学んだ知識の共有と実施方法を検討。
安全衛生委員会	月 1 回	職場環境の改善や KYT について話し合う。
回想法委員会	月 1 回	回想法のスケジュールや対象者の調整を図る。

外部研修実績

令和 6 年 8 月 22(火) ～令和 6 年 8 月 25 日(金)	ユニットリーダー研修(実地)	全国個室ユニット型施設推進協議会
---	----------------	------------------

内部研修実績

研修名	開催頻度	参加者
介護力向上 web 研修	月 1 回	介護員
介護フォローアップ web 研修	月 1 回	ユニット職員
高齢者虐待防止研修	3 回/年	施設全職員
感染症研修	3 回/年	施設全職員
管理監督者研修	1 回/年(法人本部主催)	課長

9 交通のご案内

【交通のご案内】



公共交通機関をご利用の場合…名鉄三河線「吉浜駅」下車 徒歩 15 分

高浜安立荘

〒444-1335

愛知県高浜市芳川町 1-2-73

介護老人福祉施設【特別養護老人ホーム】 Tel (0566) 52-5050 Fax (0566) 52-5599

通所介護事業所 Tel (0566) 52-5517

居宅介護支援事業所 Tel (0566) 52-9875

地域密着型サテライト型特別養護老人ホームいこいの宿高浜安立

〒444-1335

愛知県高浜市芳川町 3-1-6

地域密着型介護老人福祉施設生活介護 Tel (0566) 54-0522 Fax (0566) 54-0523